

高精度3D地図作成

モバイルマッピングシステム

CV(Camera Vector)技術により
映像を“そのまま”3D地図にしたデータを提供可能

CV(Camera Vector)技術

移動する各カメラの位置と姿勢（CV値）から、全周囲画像の位置情報を取得することができます。CV解析を行うことで空間情報解析が可能になります。

“画像”で解析できるため「分かりやすい」「扱いやすい」

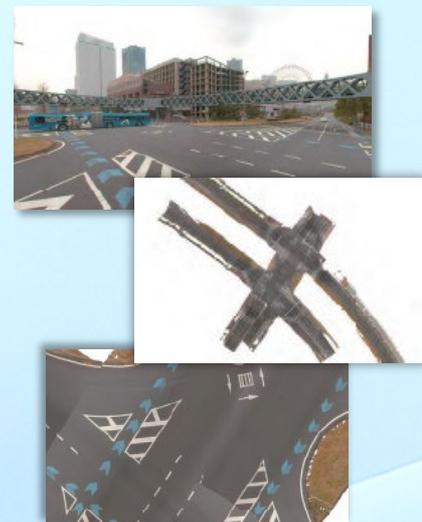
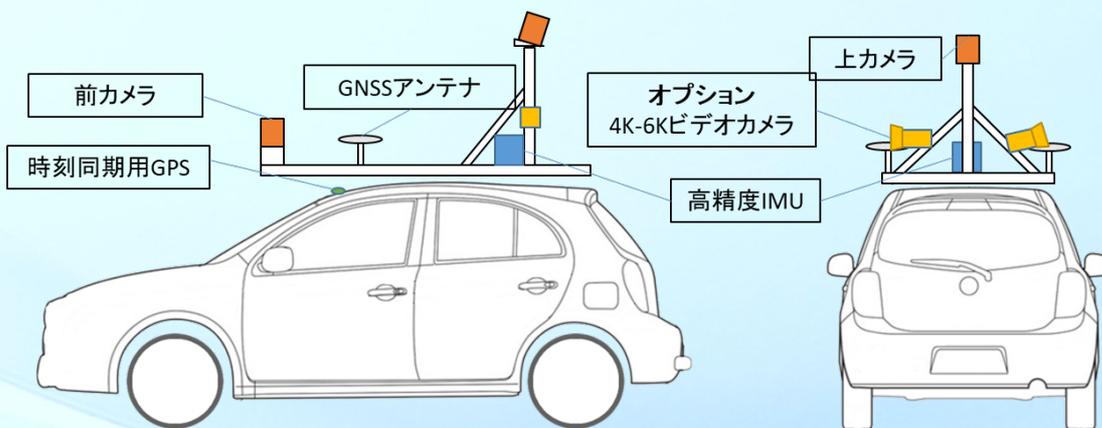
3Dレーザースキャナーによる点群を用いた三次元空間情報を取得/解析する従来の手法は、データ量（ファイルサイズ、メモリサイズ）が大きいことだけでなく、点による表現のため分かりづらいことが課題でした。

画像で処理することでデータ量を少なくし、三次元空間情報を視覚的に認識できるため、より扱いやすくなりました。

複数のフレームで複数の特徴点をトラッキング

動画1コマについて200個以上の特徴点をトラッキングします。

撮影システム構成例



車載型をはじめ、歩行者が背負える可搬型やドローンに搭載できる小型の構成など
お客様が3D地図データ化したい場所に応じた構成で撮影対応、データ提供ができます。

3D地図データの活用例

柔軟な撮影システム構成や、それにより提供可能な高精度な3D地図データはお客様のビジネス課題を解決する新たな手段としてお役に立ていただけます。

道路管理分野

車載利用により走行路の3D地図を作製、道路維持管理全般に役立つ直感的、視覚的で分かりやすい情報として管理できます。自動認識によりGIS DBの作成も可能です。



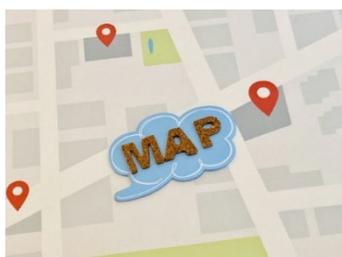
施設管理/点検分野

様々な施設の管理に適しています。発見した問題箇所や経年変化による点検履歴も位置情報と連携して記録できます。ドローンによる空撮や、小型の可搬型システムによる屋内の撮影可能です。



旅行/観光分野

登山道や、マラソンのルート紹介、観光スポットのルート作成なども視覚的にできます。



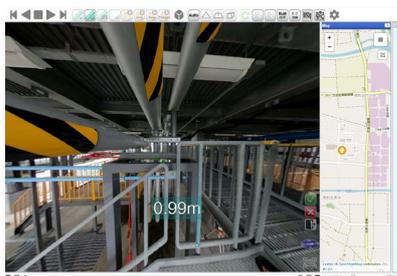
環境調査分野

河川護岸や山林における植物等の群生状態を視覚的に記録し、確認することができます。船舶に搭載して撮影を行うことも可能です。



土木建設/建築分野

インフラや建造物の工事の進捗を定期的に撮影して行くことにより、視覚的な進捗管理や出来高管理、施主への説明が可能となります。



エンターテインメント

実在の場所を撮影して作成できるデジタルツインにより、AR/VR、ゲームや案内システムなどへの応用ができます。



株式会社 東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6

TEL.03-3245-1250 (直通) FAX.03-3246-0645 E-Mail: ict_contact@toyo.co.jp

www.toyo.co.jp/ict/

大阪支店 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-6-1 (新大阪ブリックビル) TEL.06-6399-9771 FAX.06-6399-9781

名古屋支店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-3-1 (名古屋広小路ビルディング) TEL.052-253-6271 FAX.052-253-6448

宇都宮営業所 〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷2-4-3 (宇都宮大塚ビル) TEL.028-678-9117 FAX.028-638-5380

R & D センター 〒135-0042 東京都江東区木場1-1-1 TEL.03-3279-0771 FAX.03-3246-0645



本カタログに記載された商品の機能・性能は断りなく変更されることがあります。

本カタログに記載されている社名・ロゴは各社の商標および登録商標です。各社の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。